

教育振興運動メールマガジン

「みんなで教振！」通信 ～ 今こそ“地域の底力”で立ち上がろう ～

< 目 次 >

- 1 【教育振興】神戸まよめの達人運動
 - 2 【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録
 - 3 【編集後記】あつしのひとりごと
-

1 【教育振興】神戸まよめの達人運動

本年度より、小学校において本格実施されている新学習指導要領では、「すべての学習の基盤となる言語活動の充実」がうたわれています。その言語活動のひとつである読書は、読解力、創造力、表現力、語彙力、集中力といった学力の基盤となる力を培うものとしてとても大切です。

神戸市の全ての小中学校（250校）では、単に「読む」だけではなく、文章を読んで要約する力をつける『神戸まよめの達人運動』を展開しています。「読んで、考えて、まよめながら書く」という学習サイクルを繰り返すことで、読解力をつけ、知識を活用する力を磨くことをねらっています。

ある中学校では毎週水曜日、朝の15分間、市が作成した教材に取り組んでいます。例えば、「公園」について書かれた課題文を読み、150字程度で公園の安全対策についてまよめます。子どもたちは、大切なところに傍線を引きながら文章を読み、それをまよめるのです。

今の子どもたちは、自分の言葉で文章を書くことを苦手とする傾向があります。一問一答のテストには回答しても、文章を書く問題は「めんどくさい」とやる前から敬遠し、何も書かずに白紙のままということも多くみられます。

自分の考えを書く作文には抵抗感が強い子どもも、既存の文章の要約なら何とか書こうとするでしょう。文章に対する抵抗感を減らし、読むという行為が知識を得たり、考えを深めたりする機会となることを知るきっかけとなる取組だと思えます。

小学校の高学年から取り組むことができるので、小中学校が連携して取り組むことも良いでしょう。地域の情報を盛り込んだ課題文を活用すれば、子どもたちの地域理解にもつながります。

<課題文の例>

神戸市立垂水東中学校 HP⇒ http://www2.kobe-c.ed.jp/trh-ms/?page_id=312

神戸市立塩谷中学校 HP⇒ http://www2.kobe-c.ed.jp/soy-ms/index.php?page_id=82

2【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録

(教ちゃん) 皆さん、お元気ですか。

(振ちゃん) 今日から、またよろしくお願いします。

(教ちゃん) 第45号では、大船渡北小学校の体育館に避難所している子どもたちの家庭学習の工夫の様子を紹介しました。今日は、宮古市田老の「グリーンピア三陸みやこ」の取組を紹介しますね。

(振ちゃん) 「グリーンピア三陸みやこ」って、まだ約300人の皆さんが避難しているんだよね。

(教ちゃん) 避難所で生活をする元塾講師の方が、布団に寝そべったまま教科書や参考書を広げる子どもたちを不憫に思って、運営スタッフの方に勉強スペースを設置することを提案したんだって。

(振ちゃん) へえ～。

(教ちゃん) 小中高校生は、昼間充電をしておいた救援物資のソーラーランタンを使い、消灯時間を過ぎた午後11時まで勉強をしているの。

(振ちゃん) ほお～。

(教ちゃん) この元塾講師の方は、受験を控えた中学3年生を対象に週2回の数学の特別講座も開講してくれているのよ。

(振ちゃん) そういえば、津波で学習教室を流された釜石市の塾講師の方も、避難所や仮設住宅に散ってしまった生徒を訪ね回り、勉強の指導を続けているって聞いたよ。

(教ちゃん) みんな、子どもたちのことを考えてくれているのよね。大槌町立赤浜小学校では、避難している大工さんが受験を控えている中学生や高校生が勉強に集中してできるように教室を間仕切りして個室として使えるようにしたんだって。

(振ちゃん) こういう地域の大人の皆さんを、「緊急雇用創出事業」でお礼ができないのかな。子どもたちのために頑張ってくれている大人の皆さんを応援する仕組みを考えたいよね。

(教ちゃん) 振ちゃん・・・。あんた、たまに良いこと言うわね。

3【編集後記】あつしのひとりごと

毎年、仙台で開催されている「とっておきの音楽祭」をご存知でしょうか。「みんなちがって、みんないい」を合い言葉に、障がいのある人もない人も一緒に演奏を楽しみ、音楽の力で「心のバリアフリー」を目指す音楽祭で、今年で第10回を迎えます。

市内の公園・街頭などを会場に、300弱の団体が出演し、街中が音楽で包まれる1日になります。運営は公募による市民ボランティアの手で行われますが、障がいのある人とない人が2人1組となって運営スタッフとして活動するというのもこの音楽祭の素晴らしいところです。

私も5年前から、手話の勉強や手話サークルの活動をしていることもあり、現在は“岩手手話通訳問題研究会”の会員となっています。手話は全然上達していませんが、健常者だけで活動することに違和感を持っています。

そこで、「イーハトーブ音楽祭」という毎年夏に開催される花巻市の市民参加音楽祭に、サイン・シンガー（手話歌手）として出演のエントリーをしました。出演の許可待ちの状況ですが、花巻市内の障がいのある皆さんに呼びかけて、みんなで音楽祭を楽しみたいと思っています。

「とっておきの音楽祭」には及びませんが、自分にできることをしたいなと思っています。

⇒ 第47号は、6月28日（火）配信です。

★メルマガの感想や日頃思っていること、意見・要望をお寄せください。

⇒ 21kyoushin@gmail.com

★バックナンバー（第1～45号）はこちら。

⇒ http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/indexk_bn.html

★全県共通課題（家庭学習と読書推進）の実践事例はこちら。

⇒ http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/indexk_zi.html

★メルマガで紹介しました資料はこちら。

⇒ http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/indexk_s.html

~~~~~配信元~~~~~

\* 岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化課

\* 発行人：教育振興運動担当 佐藤敦士（さとう あつし）

転送はご自由です。どんどん転送してください。口コミは、あなたから始まります。「みんなでやろう！」という雰囲気をおあなたから作りだしてください。

~~~~~